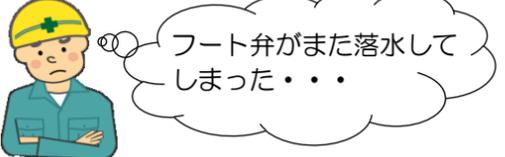


石崎製作所からのお知らせ

年末年始の連休にポンプを止めると・・・
連休明けにポンプを動かすと、フート弁の落水によるトラブルが多くなっております。
もし、フート弁で困った場合は、お気軽にお問い合わせください。



フート弁がまた落水してしまっただけ・・・と困った場合には・・・！

御社担当：田中大樹
03-5700-2812
☎0120-1439-50

①スモレンだよりにある御社担当：田中、またはフリーダイヤル（なんでも相談ダイヤル）に
お気軽にお電話ください。

②担当者が状況を確認した上、懸念案件に応じた
納入事例の送付、吸い上げ算定の送付を
致します。

③採用のご相談をお受けしています。



次回スモレンだよりの特集は・・・
「役所物件で多い開閉検知器センサ（Pコンセンサ）について」です。
毎年12月から2月まで、浄水場などの役所物件向けに多くの引き合いを頂く開閉検知器センサ付スモレンスキ“SMP型”。問合せで最も多いのは、センサの調整方法です。
製品に取扱要領書を同封しておりますが、メンテナンスする場合には手元にない場合も・・・。設置またはメンテナンスに必要なPコンに関する資料をまとめます。

担当者の一ヶ月



同窓会ネタを書こうとしてネットで「中学校 同窓会」と検索したらたくさん出てくるもんですね。
地元の秋田に帰る機会があり中学校の友人10数人とプロ同窓会しました。卒業以来会ってなかった女の子が東京でバーの経営者をしていることを知り驚いた。仲良かったので知った気になっていた私は彼女の成長をほほえましく思っていたんですが、「私、バイ（両性愛）なんだ。水泳の着替えとか、すごくドキドキしたの」と告白されました。オオビックリ！彼女のことも知らなかった。なんならちょっと好きだったし。人間変わらないけど、知らないことは多いですね。

田中大樹



今月の目次

- ・ご挨拶（千葉事業部長）
- ・事例紹介コーナー「フート仕様 最新納入事例の紹介」
- ・今月の特集「フート仕様でよく頂くお問い合わせ回答特集！」
- ・石崎からのお知らせ「フート仕様を検討されている方へ、“吸い上げ算定”を行っています」
- ・担当者の一ヶ月

◇いよいよ師走、健やかな新年をお迎え下さい◇

様々な出来事が列島を駆け抜けた2011年も残り僅かとなりました。2012年は弊社も微力ながら復興のお役に立てますよう元気に活動して参ります。

さて、朝夕の寒さは確実に冬の到来を感じるようになり、空気の乾燥でマイコプラズマ肺炎の流行など、風邪などを引きやすい時期です。「睡眠・手洗いうがい・栄養」で元気にこの冬を乗り切りましょう。

さて今月の特集テーマは【フート仕様 第3弾】です。ちょうど1年前に拡販活動を始めて以来、着実にファンを増やしてきている“スモレンスキ・フート仕様”。是非この機会にご一報頂けましたら幸いです。なお、お約束納期でお届け出来るよう在庫、出荷体制を整えておりますが、ご予定案件へのご対応はお早めにお手配頂きますよう重ねてお願い申し上げます。

◇毎度ご愛顧頂き、心より御礼申し上げます◇



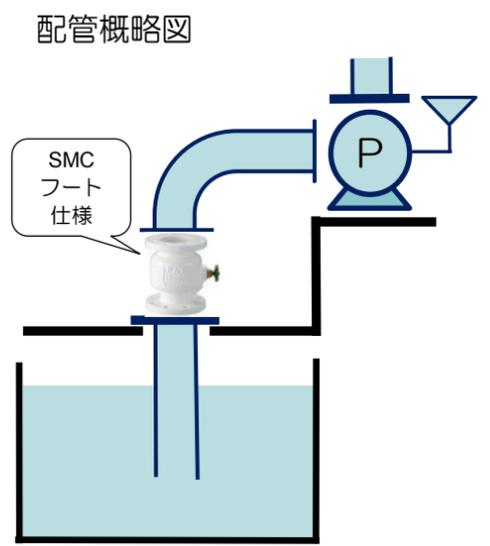
バルブ事業部長 千葉 和典



浅井信裕（技術主任）の事例紹介コーナー No.46
【フート仕様 最新納入事例紹介】

【課題】： 地下水槽を吸い上げて揚水するポンプラインに使っている、末端フート弁のメンテナンスに手間がかかっていた。ポンプ室は天井も低く、数回に分けて配管引き抜かなくてはなかった。末端フート弁の不具合が発生するとポンプが起動しなくなるので、早急な対処が必要であった。しかし、ポンプ室の場所も狭く、作業には数人必要になる為作業効率の改善が必要だった。

【解決】： スモレンスキ SMC 10K 80A フート仕様
今まで末端の設置していたフート弁と違い、陸上（液面より上）に設置できるため、異物のつまりなどがあっても取り外すメンテナンスがすぐにできるようになった。不具合があっても配管を外すだけなので、少ない人数で作業ができるようになった。



設置して1年たちますが、とても順調に使っています。陸上でメンテナンスが容易にできるのと、内部部品を調達することができるのがフート仕様を使った利点ですね。他のラインは、施工業者が違ったので、塩ビやステンレス、FCなどいろいろなフート弁が入っている。今後はこのフート仕様で統一していきたいですね。

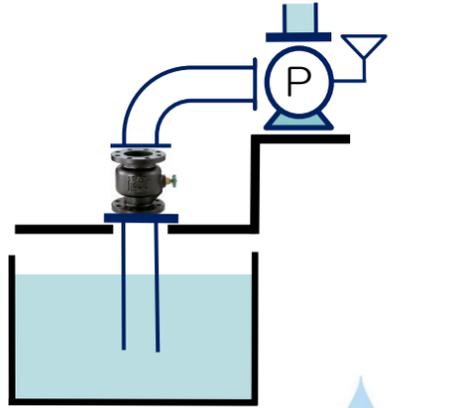
工務担当：N氏

よく頂くお問い合わせ①
「バルブより下は呼び水出来ないけど、ちゃんと吸い込むの??」

バルブより下の空気層ですが、ON-OFF起動と呼び水を繰り返すことで吸い上がります。

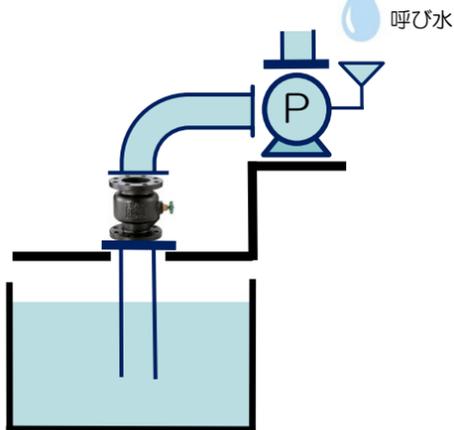
① フート仕様 設置後の状態

↓
配管が空になっている状態で、フート仕様を取付します。
配管内は、ポンプから液面まで全て空気層だけになっています。



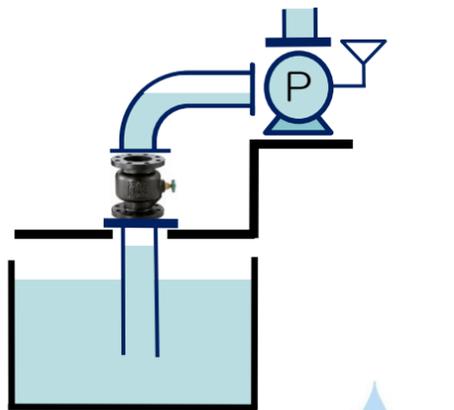
② ポンプから呼び水を行う

↓
ポンプより呼び水をして、ポンプからフート仕様までの吸込配管内に水で満水にします。



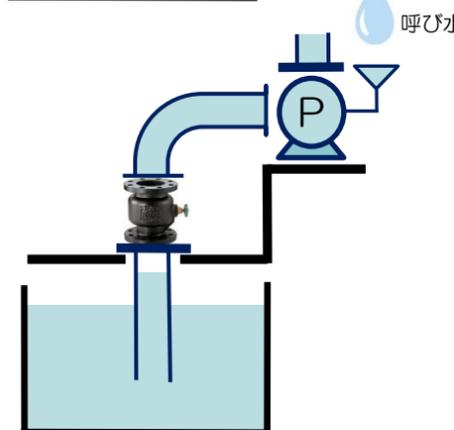
③ ポンプ ON-OFF運転を行う

↓
ポンプを起動させ、1~2秒後停止させます、水面より水が吸い上がります。ポンプ停止後でも水は落水しません。配管内にはまだ空気層が残っています。



④ 再度、呼び水してポンプとフート仕様間を満水にする

↓
ポンプから呼び水をして、ポンプからフート仕様までの吸込配管内に水で満水にします。
再度、ポンプ ON-OFF運転させると、さらに水が吸い上がります。



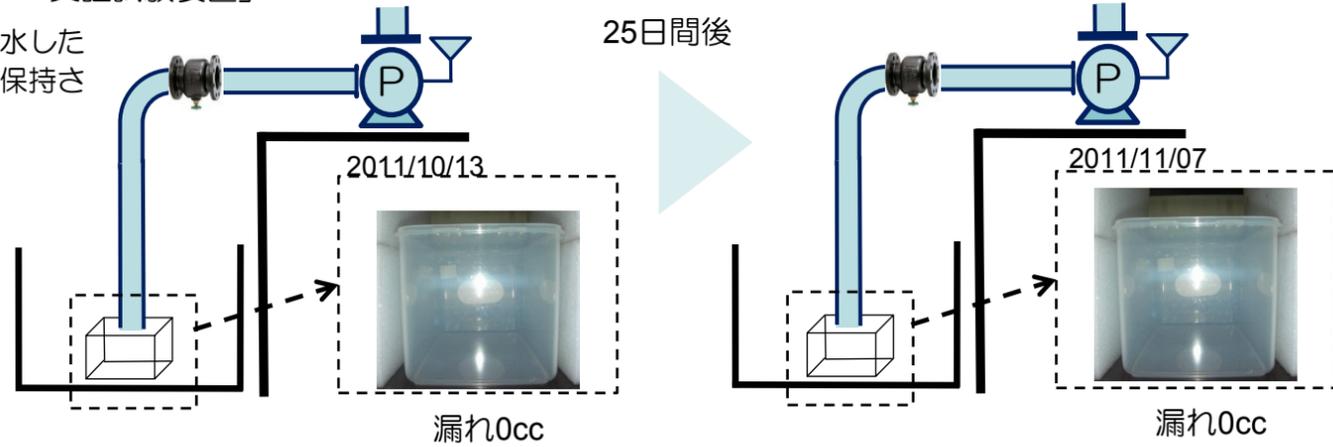
※ ③~④を数回繰り返すことで通水できます

よく頂くお問い合わせ②
「一度吸い上げたら落水しないってホント??」

弊社、フート仕様実証試験配管で、一度吸い上げた水の様子を観察しました。

「実証試験装置」

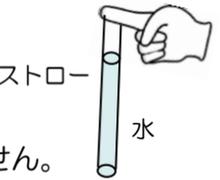
一度通水した状態を保持させた。



「実証試験の結果」

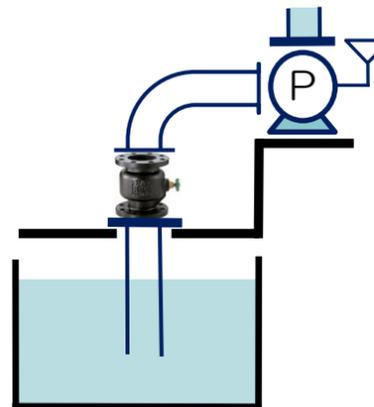
25日間放置していても一度吸い上げた水の落水はなく、ポンプ再起動後もスムーズに通水が確認されました。

※ ストロウの原理と同じで、スプリングで止水するので空気が入らず落水しません。



よく頂くお問い合わせ③
「末端フート弁よりメンテナンスしやすいってホント??」

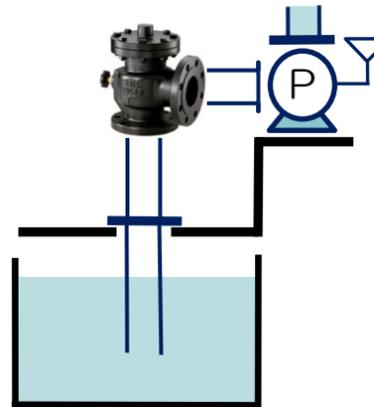
ストレート型



① 水中に設置する末端フート弁と違い、陸上に設置するので簡単に取り外しができます。(ストレート型、アングル型)

② アングル型は、バルブ上蓋を外すと内部弁筒が取り外せるので、配管から取り外すことなくメンテナンスができます。

アングル型



フート仕様のコストメリット面

- 設置位置が腐食する水中ではないので、ステンレス製ではなくFC製が使えます。
- 水中から引き揚げる人工や水を抜く時間等はかかりません。